

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 4月25日更新

事務事業名	全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	2	福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名	小畑 英之
	施策	6	社会福祉の推進	所属課	福祉課	担当者名	松本 嘉奈恵
	施策の柱	23	地域福祉の推進	所属班	社会福祉班	(内線)	1152
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 1	事業連番 10859	根拠法令	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>全国のハンセン病療養所が所在する12の市町で構成された協議会であり、協議会に参画することにより療養所が抱える諸問題を協議し情報交換を行う。昭和48年に全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会が発足と同時に開始。平成8年4月1日「らい予防法の廃止に関する法律」の施行に伴い、入所者への偏見が無くなる事が期待されたが、平成15年熊本県黒川温泉にて入所者の宿泊を拒否する事件が発生し、その対応に恵楓園入所者に対し誹謗中傷の手紙や電話が相次いだ。入所者への偏見は根強く残っており、高齢となった入所者への誠意ある対応と市民への啓発を継続的に実施する必要がある。平成19年度に中山節夫監督作品「新・あつい壁」を実行委員会主催で12回上映会実施。平成21年4月1日より「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」施行。平成22年7月8～9日で志志市主催で本協議会総会を開催した。平成28年度は静岡県御殿場市、平成29年度は青森市、平成30年度は沖縄県名護市で開催。平成31年度7月は宮城県登米市で開催済。令和2年度の総会は東京都東村山市で開催予定だったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止(書面決議)となった。令和3年度も引き続き東京都東村山市で開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため総会は書面決議となり、意見交換会をオンラインにより開催した。</p>
【業務の流れ】	<p>事務局(東村山市)から総会の開催通知を受理②市長、議会議長、健康福祉部長へ通知を回覧し、旅費を計上する③交通機関及び宿泊先の申込みを行う④総会資料を回覧、保管する⑤協議会への負担金の請求書受理⑥支払手続を行う</p>
【主な予算費目】	普通旅費・負担金
【意見や要望】	<p>令和3.5月現在の菊池恵楓園の入所者の平均年齢は85.5歳(全国は87歳)と高齢化しており、H28.4月時点の入所者273人から、H29.4月では246人、平成31年4月時点で194人、令和2年4月時点で172人、令和3年4月時点で164人と減少している。そのため、菊池恵楓園入所者自治会からは、「職員数を減らさないで欲しい。入所者は心細いので、最後まで国にみていただきたい。」等の要望があり、協議会において所在市町の意思の統一を求められている。 ・ハンセン病問題基本法制定要求の請願書が提出され、議員立法により「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が可決され、平成 21年4月1日より施行された。 ・菊池恵楓園将来構想の実現に向けた協議会が発足し、国、県、恵楓園、自治会が協議する場ができ、項目を設定し、それぞれで出来ることを協議しながら進めている。</p>

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	令和3年度の全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会総会は、東京都東村山市で開催予定だったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。総会の必要事項については、書面開催を行い決議した。また、意見交換会をオンラインにより開催した。	4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 令和4年度は香川県高松市で開催が予定され、市長、議長、健康福祉部長が出席の予定である。 なお、本市は令和6年度に開催地となる。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 ア: 総会開催回数 イ: 負担金納入回数	予算の主な増減の理由 旅費の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人 ① 合志市長 ② 合志市議会議長 ③ 健康福祉部長 ④ 全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) ア: 総会参加者数 イ: 担当職員数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) % ① 本協議会においてハンセン病療養所所在市町に関する諸問題を協議し、その問題解決を図る。② 協議会へ負担金を支払うことにより、同協議会の運営を円滑なものにする。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) ア: 総会における議題の議決度 イ:
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠 例年の実績に応じて設定		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

各指標・総事業費の推移	単位	31年度	2年度	3年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込		
① 活動指標	ア 回	1	1	1	1	1	1	1	1		
	イ 回	1	1	1	1	1	1	1	1		
② 対象指標	ア 人	3	0	3	0	3	3	3	3		
	イ 人	2	2	2	2	2	2	2	2		
③ 成果指標	ア %	100	100	100	100	100	100	100	100		
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源	一般財源	千円	120	20	158	20	151	358	1,658	158
		(A) 事業費計	千円	120	20	158	20	151	358	1,658	158
		(A)のうち指定経費	千円	20	20	20	20	20	20	20	20
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	2	2	2	2	0	0	0	0
延べ業務時間	時間	200	60	300	60	0	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	792	236	1,195	234	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	912	256	1,353	254	151	358	1,658	158		

事務事業名	全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会参画事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 今年度の総会は中止であったが、書面開催により議案の議決を行った。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 引き続き、副会長市として、会長市と連絡を取りながら総会に参加する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 総会への参加は達成されているため、要請書に対する解決度を上げる努力をする
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業が無く統廃合はできない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ハンセン病療養所の所在市としての役割は大きく、最低限度の予算を計上しているため削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低の人員で事務を行っているため削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会を円滑に行うための参画であり、参画することで合志市民に有効な情報を早くに得ることができるので公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ハンセン病問題は、国の責務であり、ハンセン病療養所を有する自治体として、関係所在市町で組織する協議会への参加であるため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

ハンセン病療養所を有する自治体として、関係所在市町で組織する協議会の副会長市として、会長市と連携を図りながら参加できた。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					